

郡長正ゆかりの地交流都市宣言

令和4年9月22日

明治4年(1871年)5月1日、会津藩家老 萱野権兵衛の子
郡長正は、遠く豊前国豊津の地において、会津の誇りを胸に、
わずか16歳で非業の死を遂げました。

長正の死は、悲しい出来事でありましたが、その御縁により、み
やこ町と会津若松市は、長きにわたり相互交流を続けてきました。

その死から150年余りが経過しますが、みやこ町と会津若松
市のいずれにとっても、その誇り高き魂を思慕する想いは変わり
ません。

我々は、長正の遺勲を、共有の貴重な歴史的遺産として長く
後々の世代まで伝え、併せて、両自治体・住民の交流を未来に引
き継ぎ、未永く交流していくことを宣言します。

みやこ町長



内田直志

会津若松市長



室井照平